



一中だより

浜田市立第一中学校 学校だより 第6号

令和6年10月21日(月)

〒697-0024 浜田市黒川町3745

TEL 0855-22-0946

FAX 0855-22-0947

E-mail dail@hamada.ed.jp



浜田市立第一中学校HPはこちら
浜田市立第一中学校
このHPはこちらから

「この一行に逢いにきた」

校長 川田 英樹

天候が心配されましたが、曇り空のもと、9月21日「体育祭」には、保護者の皆様、地域の皆様に早朝よりお越しいただきありがとうございました。大きな声援で盛りあげていただき、また、最後まで残ってテントの片づけをしていただいた皆様に感謝申し上げます。

3年生は体育祭に向け、夏休みを返上して準備を進めてきました。応援練習など思うように進まず、やきもきすることもあったと思いますが、直前1週間の追い込みは素晴らしかったです。3年生のリーダーシップのもと、1、2年生もしっかり応えてくれました。体育祭のねらいは、体育の授業での取組を発表する場、そして、仲間づくり・絆づくりがあります。準備から当日まで、一人一人が輝き、1～3年生の縦の絆がさらに深まった体育祭になりました。

10月になり、秋を実感する季節がやってきました。「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「芸術の秋」など様々なイベントが開催されています。今回は「読書の秋」についてお話しします。読書することで三つのよいことがあるといわれます。

一つ目は、「語彙力がつく」。今まで知らなかった言葉に出会って、学力向上、コミュニケーションのスキルアップにつながります。二つ目は、「集中力がつく」。本が集中して読める人は、勉強も集中してできるようになります。三つ目は、「想像力が身につく」。物語の世界では、自分が経験できないことも体験したり、気持ちを考えたりすることができ、頭の中の世界がどんどん広がっていきます。想像力が身につくと、他人に共感する思いやりを持つことができます。

一中では、読書時間を1週間に最低2時間という目標を掲げています。また、月に1回、地域の方のボランティアによる

「読み聞かせ」を行っており、本に親しむきっかけになればと思っています。10月27日から11月9日まで読書週間が始まります。今年の標語は「この一行に逢いにきた」です。読書週間にいろいろな本に出逢い、「読書の秋」を満喫してください。



芸術の秋～10月30日は校内合唱コンクールです～

10月30日(水)、石央文化ホールで開催する「校内合唱コンクール」に向けて、どのクラスも練習に励んでいます。今年各クラスの演奏曲をプログラム順に紹介します。

- ①【1年1組・青空・若葉】涙をこえて(かぜ耕士 作詞/中村八大 作曲)
- ②【1年2組】いのちの歌(Miyabi 作詞/村松崇継 作曲)
- ③【1年3組】旅立ちの時～Asian Dream Song～(ドリアン助川 作詞/久石 譲 作曲)
- ④【1年4組】マイバラード(松井孝夫 作詞・作曲)
- ⑤【2年2組・若葉・潮風】HEIWAの鐘(仲里幸広 作詞・作曲)
- ⑥【2年4組】時の旅人(深田じゅんこ 作詞/橋本祥路 作曲)
- ⑦【2年1組・青空】遠い日の歌～パッヘルベルのカノンによる～(岩沢千早 作詞/橋本祥路 作曲)
- ⑧【2年3組】大切なもの(山崎朋子 作詞・作曲)
- ⑨【3年4組】群青(福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生 作詞/小田美樹 作曲)
- ⑩【3年3組】手紙～拝啓 十五の君へ～(アンジェラ・アキ 作詞・作曲)
- ⑪【3年1組・青空・若葉・潮風】YELL(水野良樹 作詞・作曲)
- ⑫【3年2組】明日の空へ(ミマス 作詞/Sachiko 作曲)

～体育祭を終えて～

青組 色長 虫谷 太吉 / 副色長 清本 千晴

私たちが体育祭を終えて学んだことが三つあります。

一つ目は、「協力することの大切さ」です。一つの目標に向かって皆で団結することで、一体感が生まれました。このことから協力することの大切さを学びました。

二つ目は、「何事にも全力で取り組む」ことです。青組は競技だけでなく、テントでの応援も学年に関係なく全力で取り組むことができました。

三つ目は、「体育祭を楽しむ」ことです。青組の仲間たちの表情を見ていると、とても楽しそうな様子がうかがえました。

結果的に青組は負けてしまいましたが、学べたことがとても多く、最高の体育祭になりました！

緑組 色長 山本 武劉

3年生の僕にとって、今回の体育祭は最後でした。1・2年の時は今よりも恥ずかしい気持ちがあり、自分に自信が持てませんでした。その頃の色長だった上級生たちは人をまとめる力があり、ものすごくかっこよかったです。そして、僕も上級生たちのように頼られる色長になりたいと思いました。しかし、最初は頼られるような色長ではありませんでした。先生や同じ色の仲間にも助けられてばかりでした。そして、そのおかげで僕は最後まで色長として頑張ることができました。みんなの支えによって総合優勝や団結賞などの成果を収めることができて嬉しかったです。

僕は色長を経験したことで、自分にもものすごく自信を持つことができるようになりました。これまで支えてくれたみんな、ありがとう。

黄組 色長 渡邊璃久斗

体育祭が終わったばかりの頃はとても悔しかったです。なぜなら色長として黄組を優勝させたかったからです。しかし練習の時からリーダー全員がやる気を出し、組全体を引っ張ることができていました。全体的に最初はやる気がない雰囲気もありましたが、リーダーの気持ちにつられてやる気があふれるようになりました。

3年3組としては、放課後練習でみんなと協力して頑張ったことが一番心に残っています。また、黄組全体としては、みんなで円陣を組んだ時に、絆が深まったと感じたことが心に残っています。悔しかったけれど、「記録より記憶に残る体育祭」になりました。

赤組 色長 松岡 拓志 / 副色長 江角 結衣

赤組は「愛」というスローガンのもと、本番に向けて全力で、愛情込めて頑張ってきました。二位という惜しい結果になりましたが、とても思い出に残る体育祭にもなりました。

体育祭が終わってはや一ヶ月が経ち、なんだか寂しく思うようになりました。しかし、そんな思い出いっぱい体育祭が終わり、私たち3年4組は校内合唱コンクールに向けて日々努力しています。総合1位である「コンクール大賞」を獲得できるように頑張ります！次は3年4組の愛のあるハーモニーを届けるのでぜひお見逃しなく。3年4組の愛ある物語は続く…



必ず
役立つ

家庭学習のポイント（国語編）

「国語って、勉強する必要あるのかな？」と考えている人も多いのではないかと思います。「基本的に日常的に使う言葉だし、読めば理解できるし」という気持ちはよくわかります。しかし、ポイントを押さえれば、もっと国語（正確には、国語の問題）に強くなれるはずですよ。一つでも取り組んでみてはいかがでしょうか。

①教科書を読む→くり返し何度も読むことがおすすめ。特に音読が効果的。（読む＆聞くを一度に）

②ワークに取り組む→特に、間違えた問題や分からなかった問題をくり返す。

なぜその答えになるのか、なぜ間違えたかを分析することが大事。

③漢字の練習→小学校の漢字、中学校の漢字のどちらもくり返し書くとよい。

見るだけよりも実際に書く方が自分の力になる。

④文法→くり返し問題を解く。定期的に復習しないと忘れるので、定期的に取り組むこともポイント。

★⑤要約→まだまだ足りないという人は文章を要約してみると、重要なポイントを見つけやすい。

（国語科主任 佐々木）